
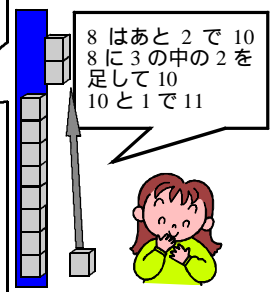
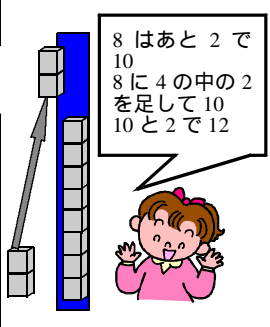
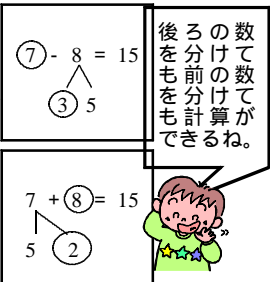








単元の目標

- ・ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方を選んで考え、習熟しようとする。
- ・ 10のまとまりに着目して計算の仕方を考える。
- ・ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算を、加数分解や被加数分解で計算を正しくすることができる。
- ・ 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算を、加数分解や被加数分解で計算する方法が分かる。

単元の学習内容

次時	ねらい	主な学習活動	指導・援助 評価
1 たしざん	1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方を考える活動を通して、10のまとまりをつくと計算しやすいことに気づき、加数分解で計算ができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題から式をつくり課題をつかむ。 $9 + 4$の計算の仕方を考えよう。 2 ブロックを操作して計算の仕方を考える。 3 考えを交流し、10のまとまりをつくとよいことを見付ける。 4 加数分解を式で計算する方法を考える。 5 他の問題でも同じようにできるか確かめる。 6 計算をする。  <p>1個ずつ数えたすよりも、10のまとまりをつくと「10といくつ」ですぐに答えが出るね。</p>	<p>10のまとまりをつくる方法を数えたしの方法を比較する問いかけをする。</p> <p>10のまとまりをつくと計算するとよいことが分かる。(知・理)</p>
2	1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方を説明する活動を通して、他の数値でも同じように計算ができることに気づき、加数分解で計算ができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題から課題をつかむ。 2 ブロックを操作して計算の仕方を話す。 3 計算の仕方をペアで交流する。 $8 + 3$の計算の仕方を言いましょう。 4 ペアで数値を換えて、加数分解で操作しながら繰り返しお話をする。 5 加数分解で計算をする。  <p>8はあと2で10 8に3の中の2を足して10 10と1で11</p>	<p>ブロック操作したことを式でも表すよう助言する。</p> <p>加数分解で計算を説明することができる。(表・処)</p>
3 本時	被加数が加数より小さい場合の計算の仕方を考える活動を通して、加数を10にする方法があることに気づき、加数を10にして計算することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題から式をつくり課題をつかむ。 $4 + 8$の計算の仕方を考えよう。 2 ブロックを操作して計算の仕方を考える。 3 計算の仕方を交流して、2つの方法の違いを見付ける。 4 ペアで数値を換えて、被加数分解で操作しながら繰り返しお話をする。 5 被加数分解を使って計算する。  <p>8はあと2で10 8に4の中の2を足して10 10と2で12</p>	<p>ブロック操作を基に、加数分解と被加数分解との違いを問いかける。</p> <p>被加数分解による計算の仕方が分かる。(知・理)</p>
4	1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方を考える活動を通して、加数分解でも被加数分解でも計算ができることが分かり、計算することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題から式をつくり課題をつかむ。 $7 + 8$の計算の仕方を考えよう。 2 既習を基に計算の仕方を考える。 3 加数分解でも被加数分解でも計算ができることが分かる。 4 自分の選んだ方法で計算をする。  <p>後ろの数も分けても計算ができるね。</p>	<p>どちらの方法で計算しているのか問いかけ、それに合った助言をする。</p> <p>加数分解や被加数分解で計算ができる。(表・処)</p>

次時	ねらい	主な学習活動	指導・援助 評価
5	<p>絵や式からたし算の問題をつくる活動を通して、1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算でも合併や増加の問題がつけられることが分かる。</p>	<p>1 絵から $8 + 6$ になる問題をつくる。 2 つくった問題を交流し、合併と増加の問題がつけられることを確かめる。 $8 + 6$ の式になる問題をつくらう。 3 合併や増加の問題をつくる。 4 つくった問題を解き合う。</p> <div data-bbox="885 248 1161 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私はバツタを8匹つかまえました。隣の子は6匹つかまえました。合わせると何匹でしょう。</p>  <p>どんぐりを8個持っていました。6個拾いました。全部で何個でしょう。</p>  </div>	<p>問題をつくるために、文章だけではできない子どもには絵をかき、それを文章にするよう助言する。</p> <div data-bbox="1182 533 1431 640" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>合併や増加の問題をつくることができる。(表・処)</p> </div>
2 たし算カード	<p>たし算カードを使って、計算の習熟をする。また、同じ答えのカードを集めることができる。</p>	<p>1 たし算カードの練習の仕方確かめる。 $7 + 5$ はいくつかな。 たし算が正しくできるようになろう。 2 たし算カードで練習をする。間違えた問題を繰り返し練習する。 3 ペアでたし算カードで練習をする。 4 同じ答えのカードを集める。</p> <div data-bbox="885 663 1161 931" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5を3と2に分けます。7と3で10。10と2で12です。</p>   </div>	<p>カードを見て計算ができない子には、お話をするようにしたり、ノートに書かせるようにしたする。</p> <div data-bbox="1182 857 1431 931" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>たし算が正しくできる。(表・処)</p> </div>
3 ゲーム	<p>計算カードを使ってカード探しゲームや大きさ比べ、カード当てゲームをして、根拠を基に答え、計算の習熟をする。</p>	<p>1 カード探しゲームのやり方を確かめる。 計算ゲームをしよう。 2 カード探しゲームをやる。 3 大きさ比べゲームのやり方を確かめる。 4 大きさ比べゲームをやる。 5 カード当てゲームのやり方を確かめる。 6 カード当てゲームをやる。</p> <div data-bbox="885 954 1161 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ここにはどのカードがあったかな。</p>  <p>$8 + 6$ と $8 + 8$ の間だから、$8 + 7$ です。</p>  </div>	<p>ゲームでは必ず答えを言ってから大きさを比べるなど、計算をする場面を明確に示す。</p> <div data-bbox="1182 1211 1431 1285" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>たし算が正しくできる。(表・処)</p> </div>
4 れんしゅう	<p>練習をして、計算の習熟や文章問題を行う。</p>	<p>1 練習の内容を確かめる 正しくできるようになろう。 2 練習をする。 3 答えを確かめる。 4 いろいろな問題に挑戦する。</p>	<p>早く終わった子どもには、いろいろな問題を準備しやるよう助言する。</p> <div data-bbox="1182 1469 1431 1543" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>たし算が正しくできる。(表・処)</p> </div>